

中部電力ミライズ

自動車認証用ラベルの印字状態検査システム

導入先:トヨタ自動車株式会社さま(組立製造技術部)

お客様の課題

- 外乱光やラベルの反りにより検出精度が安定しない
- ラベル変更時に煩雑なマスタ登録設定が必要で現場での運用が難しい

中部電力ミライズならではの強み

- 独自の画像解析プログラムにより、外乱光やラベルの反りが発生してもそれら補正することで、検出精度の向上を実現
- 独自のGUI機能により、現場でのマスタ登録設定の簡易化を実現

検査システムの概要

検査項目

OK品

NG品 カスレ

NG品 カケ



独自の解析プログラムによる検出結果

既存の装置と比較し、外乱光やラベルの反りによる過検出を低減。

カスレ

カケ



独自のGUI機能によるマスタ登録の簡易化

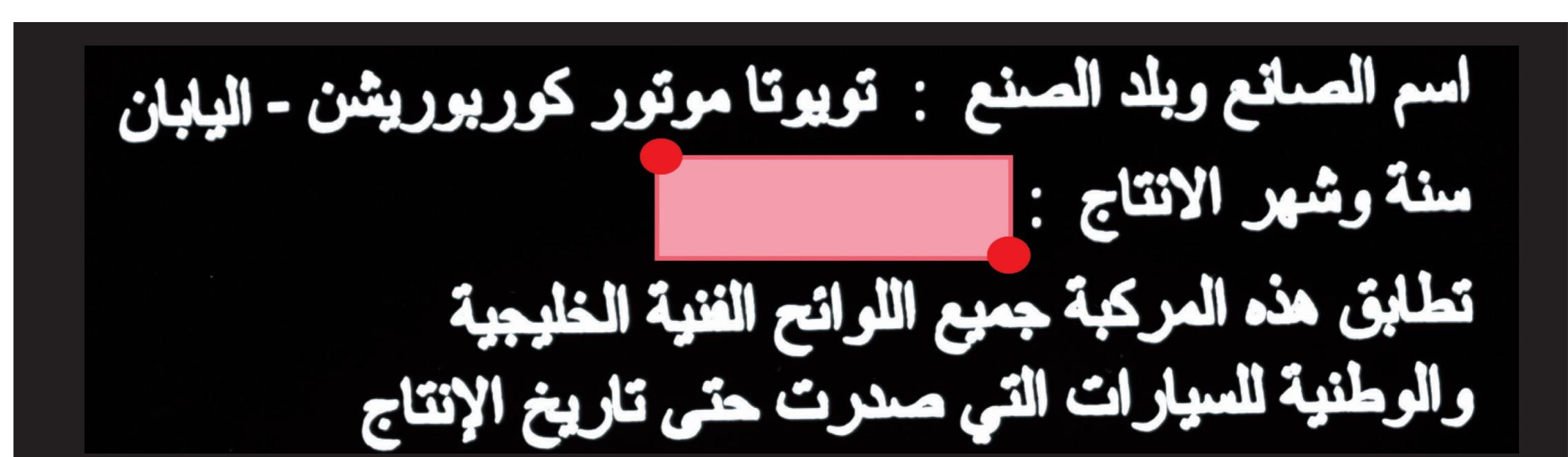
従来の煩雑なマスタ登録を簡易化し、登録時間の大幅な短縮を実現。

既存システムのマスタ登録方法

当社ご提案のマスタ登録方法



領域4辺の枠線が文字に触れる状態から3画素分を空けるよう各領域で座標入力する



対角2点で検査対象外領域をマスキング
➡ マスタ登録は本作業のみ！